

# 小山市事務事業評価シート

令和4年度版

No. 4

1. 基本情報			
<1> 事業・業務名	旧保健・福祉センター改修事業		<2> 事業・業務の別
<3> 選定基準	② 事業の範囲や経費等について、市の裁量の余地がある事業		事業
<5> 総合計画基本計画での体系	大項目	2 持続可能な行政運営と 広域連携による行政・ひとづくり	<4> 継続業務・新規業務の別
	中項目	2-2 公共施設の最適な配置と適正な維持管理	継続業務
	小項目	2-2-1 公共施設	<6> 担当部(局)
	施策	1-2 公共施設の総合的・計画的な管理の推進	総務部
<9> 根拠法令・計画等		<10> 関連・類似事業	
<11> 会計	一般	会計	<12> 予算科目
<13> 実施期間	3 年度 ~ 9 年度		2 款 1 項 4 目
<15> 実施手法	一部委託		<14> 全体事業費
			331,382 千円
			<8> 担当係等
			管理運用係

2. Do - 実施 -				
<16> 事業・業務の概要	小山市公共建築物長寿命化計画に基づいて施設の長寿命化を図るとともに、市の外郭団体等の施設として、市民の皆様が安全で快適に利用していただくため、改修工事を実施するもの。			
目的	<17> 事業・業務の目的	市民の皆様が安全で快適に利用していただくため		
	<18> 事業・業務の対象	社会福祉協議会、消費生活センター、男女共同参画センター等に勤務している職員及び利用者		
<19> 令和3年度の活動内容	空冷式空調機設置、便所改修、鍵改修、室名板改修及び雨漏り防止工事			
手段	<20> 活動指標 (活動した量や実績)	指標名	単位	
		工事施工箇所	箇所	
		指標とした理由	限られた予算の中で効率的に、より多くの箇所を修繕することで安全で快適な施設になるため、活動指標とする。	
		指標とした理由		
<21> 事業・業務の成果	旧保健・福祉センターの老朽化した設備を、故障が起きにくく、利用者に支障をきたさないよう更新する。			

成果	<22> 成果指標 (活動した結果得られた成果の量や実績)	指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		工事進捗率	%	計画	実績	計画	実績
		活動指標との関係や成果指標とした理由	令和9年度完了時点の工事進捗率100%に対する各年度での進捗率目標を成果指標とする。				
		活動指標との関係や成果指標とした理由					

資源	<23> 投入指標 (投入するお金の量)	コスト実績	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
			千円	計画(予算)	実績(決算)	計画(予算)	計画(予算)
		事業費等	千円	0	0	95,399	86,105
		財源内訳	千円				
		国・県補助金	千円			78,896	70,531
		地方債	千円			49,320	98,280
		その他	千円				
		一般財源	千円			8,766	7,837
		上記の主な用途	千円				
		人件費	千円	0	0	7,737	7,737
	正職員	千円	7,737 ×	7,737 ×	7,737 × 1.0	7,737 × 1.0	
	他の職員	千円	×	×	×	×	

3. Check - 評価 -			
実 績 評 価	妥当性	<24> 事務事業を実施する目的や対象は妥当か?	1. 妥当である
		理由	社会福祉協議会、国際交流協会、子ども会育成会連合会、更生保護サポートセンター等の外郭団体が入居する施設の管理及び改修費を、市が負担することが妥当か再検討が必要であるが、市有施設であることから現時点では妥当である。
		<25> 事務事業を実施する手段や実施手法は妥当か?	1. 妥当である
		理由	市有施設であることから、現時点では、工事費を市が支出することが妥当である。
		<26> 事務事業の実施に対する市民ニーズはあるか?	2. 変わらずにある
	理由	多くはないが、社会福祉協議会、消費生活センター、男女共同参画センター等に勤務している職員及び利用者がある。	
	<27> 今後も市が実施する事務事業として妥当か?	2. 検討を要する	
	理由	市の利用が少なく、入居している外郭団体が多くの面積を占めていること、また、償還期間の関係から施設の賃貸料を請求していない施設に対し、市が改修費を負担することが妥当か再検討が必要である。	
	有効性	<28> 事務事業の成果の向上の余地はあるか?	2. 向上の余地はない
		理由	施設の長寿命化のための改修計画に沿って施工しているため向上の余地はない。
効率性	<29> 総合計画基本計画施策への貢献度は大きいのか?	2. 中位	
	理由	多くはないが、社会福祉協議会、消費生活センター、男女共同参画センター等に勤務する職員及び利用者があり、中位と考える。	
公平性	<30> 事務事業の効率の向上の余地はあるか?	1. 向上の余地はある	
	理由	必要最小限の改修にして、目的を達成しながらも経費を削減する余地はある。	
<32> 総合評価	<31> 受益者負担の水準は妥当だと考えられるか?	1. 妥当である	
	理由	利用料金を徴収する公の施設には当たらないことから、各団体から使用料を徴収することが理想である。しかしながら、建設時に厚生省から補助金が支出されているため、徴収しても国に補助金を返還することになることから、実費として光熱水費のみ徴収する。	
	2. 改善の余地はある	理由	必要最小限の改修にして、目的を達成しながらも経費を削減する余地はある。

4. Action - 改善 -			
事業の改善	<33> 事業の課題 事業の改善点	内装の清掃等を徹底することで、内装工事の施工範囲を減らし、費用を削減できる。今後は、男女共同参画センター、健診業務、消費生活センター、選挙資材倉庫等の市の直接管理部分は統廃合して、外郭団体に管理を委託することも引き続き要望し続けたい。	

5 Plan - 計画 -			
事業の方向性	<34> 1次評価	所属長	3. 現状維持
	理由	入居団体に光熱水費の負担は求めているものの、償還期間の関係から建物の占有面積に対する賃貸料は求めていることから、維持管理や改修費用など市の負担は大きいものの、市民の方に支障なく長く利用していただくためには、設備等が機能しなくなる前に改修することが必要である。	
	<35> 2次評価	所管部長	3. 現状維持
	理由	築40年経過する建物であるが大切な市有施設であることから、長く有効に活用し、また、市民の方に安全に、安心して利用していただくために、必要な改修を計画的に施工していくべきである。	
事業の計画	<36> 実施計画・今後の方針	令和4年度 内装及び照明設備更新工事 令和5年度 受水槽・給水管改修、屋内消火栓更新、受変電設備及び非常用発電設備更新、内装改修工事 令和6年度以降 各給排水管、分電盤、屋上防水、外壁改修工事	
	<37> 活動・成果目標	令和9年度工事完了時点で工事進捗率を100%にすることで、各団体の職員や利用者など市民の皆様が安全で快適に利用していただく。	